

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	812000-01-07
事務事業名	子ども支援員・介助員配置事業			担当部課	教育部 学校教育課
				電話番号	04-2964-1111
総合計画 基本計画	施策の大綱	02	学びあいのまちづくり	実施期間	平成7年 ~ 年
	政策(節)	02	学校教育の充実	その他の計画	
	施策(項)	02	学校教育内容の充実		
予算事業名	学校教育支援事業			予算事業番号	1972
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業開始の 背景・経緯	学級運営・指導が適切に行えること及び特別な教育的支援を必要としている児童生徒が安心して学校生活が行えることを目的に人的支援(援助)体制を構築する。平成29年度から「発達障害児童生徒支援員」の名称を「子ども支援員」に変更した。				

2 事務事業の目的・内容

対象	小・中学校における心身障害児童生徒	実施の根拠 (法令・条例等)	なし
目的 (もたらそうとする成果)	心身障害児童生徒が在籍する小・中学校で、児童生徒の安全性の確保及び身辺自立の補助を行うため、子ども支援員・介助員を配置している。		
全体の事業 内容	LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)等の障害のある児童生徒の中で、担任の支援だけでは学習上困難がある場合には子ども支援員の配置、また、身体に障害があり、授業中の支援、教室間の移動、着替え、トイレ及び食事の介助等が必要な児童生徒に対しては介助員を配置する。		

3 事務事業の実施状況と成果

令和 1年度の 実施内容	子ども支援員を17名、介助員を15名配置し、特別な教育的支援を必要としている児童生徒に個々に応じた支援を行った。								
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
実施 状況	① 子ども支援員・介助員配置人数	目標値又は前年度値	人	29	29	30	32	前年度実績	
		実績値	人	29	30	32			
		達成率又は前年度比	%	100	103.45	106.67			
	②	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
	③	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
	④	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)	
成果	① 子ども支援員の配置数	目標値又は前年度値	人	16	16	17	17	重度の発達障害の児童生徒数	
		実績値	人	16	16	17			
		達成率又は前年度比	%	100	100	100			
	②	目標値又は前年度値							
		実績値							
		達成率又は前年度比	%						

無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの
※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	34,109 千円	34,373 千円	38,719 千円	42,837 千円	
		決算(見込)額 ①	31,859 千円	33,453 千円	36,131 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.2 人	0.15 人	0.3 人	
			嘱託・再任用	0 人	0 人	0 人	
			パート等	0 人	0 人	0 人	
		人件費 ②	2,033 千円	1,503 千円	2,410 千円		
	総事業費 ③=①+②		33,892 千円	34,956 千円	38,541 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		33,892 千円	34,956 千円	38,541 千円			
効率性 指 標	指標名	支援員・介助員配置人 ⑦	29 人	30 人	32 人		
	コスト	支援員・介助員1人当③÷⑦	1,168,689 円	1,165,200 円	1,204,406 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価		今後の方向性
	重度の発達障害のある児童生徒への子ども支援員の配置および、身体障害により介助が必要な児童生徒への介助員の配置を行うことで、子どもたちが安心して学校生活を送れた。また、該当する児童生徒だけではなく学級全体が落ち着き、授業が円滑にすすめることが出来た。		<input checked="" type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		
	重度の発達障害のある児童生徒への子ども支援員の配置および、身体障害により介助が必要な児童生徒への介助員の配置を行うことで、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにする。該当する児童生徒は年々増加傾向にあり、年度途中でも転入や症状の進み具合により、新たに支援員の配置が必要になることも考えられるため、人員増の柔軟な対応が課題である。		改善の評価
	令和 2年度の取り組み課題		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	重度の発達障害のある児童生徒への子ども支援員の配置および、身体障害により介助が必要な児童生徒への介助員の配置を行うことで、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにする。該当する児童生徒は年々増加傾向にあり、年度途中でも転入や症状の進み具合により、新たに支援員の配置が必要になることも考えられるため、人員増の柔軟な対応が課題である。		
令和 3年度の取り組み課題			
引き続き、子ども支援員および介助員を配置することで、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにする。該当する児童生徒は年々増加傾向にあり、年度途中でも転入や症状の進み具合により、新たに支援員の配置が必要になることも考えられるため、人員増の柔軟な対応が課題である。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	